

指定管理業務 令和7年度事業評価書(指定管理者及び市作成)

指定管理者名	特定非営利活動法人 来未iwakura		
施設名	岩倉市生涯学習センター	施設所管課	生涯学習課
指定期間	令和7年4月1日 ～ 令和12年3月31日(1年目)		
施設の設置目的	市民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もつて市民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。		

評価項目	評価基準	指定管理者		施設所管課		委員会
		評価	コメント	評価	コメント	評価
		1年目		1年目		1年目
		7年度		7年度		7年度

I 履行の確認

1 施設全般の管理運営に関する業務

(1) 職員配置	職員は、基本協定書に基づき適切に配置されたか	A	基準よりも優れた内容である。 ・業務を円滑に遂行するための適正な数の職員を配置した。特に窓口業務には、1名以上配置のところ、常時2名以上を配置することで、円滑な業務進行が行えた。	A	基準よりも優れた内容である。 ・講座等運営及び施設管理において、職員を適切に配置し、円滑な運用がなされていた。窓口職員は、常時2人を配置するとともに、事務室においては公金等現金を扱うことから、常時複数人の職員が配置され適切な運用がなされていた。	A
(2) 職員研修	業務に必要な研修は適切に実施されたか	A	基準よりも優れた内容である。 ・職員研修は、職員の接遇・心構え、個人情報保護等の内部研修だけでなく、予約システムや貸館時間区分の変更、オンライン入金への対応や、台風や地震などの有事に対応できるよう、計画的に内部会議を実施した。また、サクランド岩倉の消防訓練にも参加した。	A	基準よりも優れた内容である。 ・職員研修は、職員の接遇・心構え、個人情報保護等の内部研修だけでなく、サクランド岩倉管理組合の消防訓練にも参加し、職員の資質向上に努めていた。また、計画的に内部会議を実施し、情報共有がしっかりされていた。	A
(3) 市への情報提供	報告等の市への情報提供は、基本協定書に基づき適切に実施されたか	A	基準よりも優れた内容である。 ・毎月の定例報告とともに、随時、報告を確実に行った。また、突発的な出来事や事案が発生した時は、適宜協議を実施し、緊密に連携することができた。	B	基準に概ね沿った内容である。 ・管理運営状況の報告は、月次報告書や月次モニタリングを通じて定期的に行われたほか、協議事項等があれば随時報告、協議が行われ確実な情報共有がなされた。	B

(4) 利用促進業務	施設や事業に関する情報が、印刷物やホームページを通じて市民に適切に提供されたか	A	基準よりも優れた内容である。 ・講座の開催やギャラリー、イベント情報などを、市の広報やホームページ、館内表示や岩倉駅地下道掲示板で提供し、市民に広く周知するよう努めた。	B	基準に概ね沿った内容である。 ・生涯学習講座情報を掲載した冊子「生涯学習へのご案内」を市広報に折り込み、全戸配布し広く情報提供することができた。その他イベント等の情報についても、市広報に加え生涯学習センターホームページや岩倉駅地下道掲示板、ほっと情報メール・市公式LINE等を通じて適切に提供された。	B
(5) 利用者本位の管理運営	アンケートを実施するなど利用者の声を聴取し、業務に反映する取組を行ったか	A	基準よりも優れた内容である。 ・ロビーに「利用者の声箱」を設置したり、12月実施の利用者アンケートを用いたりして、利用者の意見を広く聴くことに努めた。また、年2回の利用者会議や、年1回のサークル・社会教育団体との意見交換会を通して、情報や課題の共有、施設運営の意見交換を行った。	A	基準よりも優れた内容である。 ・講座受講者へのアンケートや年2回の利用者会議、利用者へのアンケートを実施したほか、定例利用する生涯学習サークルと社会教育関係団体との意見交換会を実施するなど幅広い利用者からの意見を聴取することができた。さらに、生涯学習センターで活動しているサークルを市民に紹介してほしいという利用者アンケートの要望を受けて、サークル活動体験講座を実施し、利用者に寄り添った対応ができています。また、利用者から要望のあった備品を整備する等、運営改善につなげることができた。	A

2 利用者に関する業務

(1) 受付業務	利用申請の受付、許可書の発行等の業務は適切に実施されたか	A	基準よりも優れた内容である。 ・窓口受付とオンライン受付の2種類の受付業務及び現金とキャッシュレス決済の決済業務と、煩雑になりそうな受付業務を正確に確実に行うことができた。全体に周知しなくてはならないことについては、連絡簿を使って職員が共有するようにしている。	B	基準に概ね沿った内容である。 ・受付等の業務は適切に実施され、新たに導入された窓口でのキャッシュレス決済についても職員向けの取扱研修や利用者への丁寧な周知を行い、トラブルは1件もなかった。また、使用料の還付についても市と連携し適切な手続きがなされた。	B
----------	------------------------------	---	--	---	---	---

(2) 利用状況	施設の利用状況は、事業計画書の水準に達したか	B	基準に概ね沿った内容である。 ・事業計画の部屋利用率58.0%、利用者数95,000人の目標は、部屋利用率56.5%、利用者数92,862人となり、いずれも目標値に届かなかった。これは、令和6年度に比べ、子供ルームの利用人数が1,839人減の4,508人とどまったことが大きい。その反面、子供ルームや市民団体コーナーを除いた、メインの貸館業務である部屋利用数は、令和6年度と比べ、総件数で89件増の7,298件、利用人数は524人増の87,982人となり、順調に利用者が増え続けていることがうかがえる。なお、部屋種別の利用状況では、令和6年度より研修室1・2、料理室、スタジオ1・2・3の利用は増加したが、会議室系と和室・工芸室は微減した。	B	基準に概ね沿った内容である。 ・施設の利用状況については、部屋利用率は56.5%、利用者数は92,862人となり、いずれも事業計画書の目標値(部屋の利用率58.0%、利用者数95,000人)に届かなかった。 しかし、令和6年度実績(部屋利用率55.8%、利用者数94,248人)と比較すると、利用者数は子供ルームの利用者数が大幅に減ったため減少しているが(1,839人減)、部屋の利用率については微増しており、利用者は増えている。	B
(3) 使用料	料金収納に関する業務は、市の例規に基づき適正に実施されたか	A	基準よりも優れた内容である。 ・間違いの早期発見や正確な料金徴収を行うために、日に3回の料金確認を確実に行った結果、トラブルは皆無であった。また、講座受講料や使用料は、確実に徴収を行ったので、市への納付は、適正に行うことができた。	A	基準よりも優れた内容である。 ・令和6年度に導入した公共施設予約システムについて、毎日申請状況を複数人で確認し、正確に処理することができた。また、令和7年12月から窓口でのキャッシュレス決済の導入により、公共施設予約システムで申請をして窓口でQRコード決済をする利用者が増えたため、手続きが複雑化したが、間違いなく対応できている。料金徴収についても適正に実施された。	A

3 保守点検及び維持管理業務等

(1) 保守点検業務	保守点検は、基本協定書に基づき適切に実施されたか	A	基準よりも優れた内容である。 ・専門業者の有資格者により、建築物検査や消防設備点検などの法定点検を適切に実施することができた。また、1日2回の職員による日常点検により、不具合の早期発見と対応が行えた。AED機器については毎週点検を実施し、有事に備えた。非常灯と誘導灯については年2回自主点検を行い、不具合を、速やかに管理会社と市に報告した。	A	基準よりも優れた内容である。 ・保守点検業務は基本協定書に基づき適切に実施された。加えて、消火設備、誘導灯及び非常用照明の自主的点検や1日2回の日常点検を行うことで不具合などの早期発見、早期修繕に努めていた。	A
------------	--------------------------	---	---	---	---	---

(2) 清掃、保安等の維持管理業務	清掃、保安等の維持管理業務は、基本協定書に基づき適切に実施されたか	A	基準よりも優れた内容である。 ・日常清掃は、毎朝常駐の専門業者職員と当日の部屋利用や汚れの状況をチェックシートにより共有し、清掃を適切に行った。日常点検では、チェックシートに基づき、毎日開館前と閉館時に全館を点検するとともに、開館中は適宜巡回し、不具合や破損等の早期発見・対応に努めた。定期の清掃や点検は、委託業者との契約に基づき、確実にを行った。	A	基準よりも優れた内容である。 ・清掃業務及び保安業務ともにチェックシートに基づき適切に実施されたほか、職員による定期的な巡回により不具合等の早期発見に努めていた。清掃及び保安意識が高く、適切に維持管理され、利用者アンケートにおいても「センター内の清潔感」は満足・やや満足合わせて100%となり、非常に高い評価を受けている。清掃管理や保守点検等は、基本協定書に基づいて確実に行われた。	A
(3) 修繕業務	修繕業務は、適切に行われたか	A	基準よりも優れた内容である。 ・毎日の点検により、不具合や修繕必要箇所の早期発見に努めた。そのうち、壁のクロスや障子の補修等の軽微な修繕は職員が対応し、経費節減に努めた。また、専門的で緊急性の高い修繕は、専門業者から迅速に見積りを徴収し、市と対応を協議するなどを経て、早期の解決を図った。	B	基準に概ね沿った内容である。 ・修繕箇所の早期発見、早期対応に努め、迅速な対応がなされていた。令和7年度はエアコンの故障が複数回あったが(5月冷媒補充修繕、6月排ガス熱交換器修繕、7月室外機ガス漏れ修繕、11月ロビーコンプレッサ修繕、11月 研修室空調発電機基盤取替修繕&スタジオ空調プレート熱交換器取替修繕)、その都度利用者全てにメールや電話連絡するなど迅速で丁寧な対応を行った。また、軽微な修繕については職員等で修繕するなど経費削減の意識を持ちながら適切に対応することができた。緊急を要する修繕については、市や専門業者に迅速に連絡し、早期の対応を図ることができた。	B

4 事業の実施に関する業務

(1) 生涯学習講座事業	生涯学習講座の企画、募集及び運営は、基本協定書及び事業計画書に基づき適切に実施されたか	A	<u>基準よりも優れた内容である。</u> ・生涯学習講座(自主事業講座を含む)は、多様なジャンルや現代的課題や利用者の要望に応える講座を企画し、事業計画の108講座を2講座上回る、110講座を開催することができた。人気のある講座では、今まで受講していない方を優先して受け付けるとともに、前後期開催し、受講機会の拡大を図った。 全体の申込は、定員2,952人に対し4,287人と1.45倍の申込みがあった。特別講座では、会場とオンラインの同時開催とするハイブリッド型講座として開催した。また、教養講座や1日で完結する1day講座は、土日の開催を多くした。さらに、夜間の講座を開催し、受講機会を幅広く提供することができた。子育ての講座では、子どもから離れて集中して受講できるように、無料の託児サービス(4講座、9回、子どものべ35人)を行った。 なお、年間を通して、のべ3,920人の応募があり、そのうちオンラインによる応募が、2,089人に上った。これは全体の53.3%にあたるが、子育て講座と小中学生向け講座では、その比率が、90%を超えた。	A	<u>基準よりも優れた内容である。</u> ・講座数は一般講座及び学びの郷で107講座、令和7年度から開始したサークル活動体験講座で3講座実施した。事業計画書で108講座としているところ、110講座開催することができた。全体の申込倍率は定員に対し1.45倍となり、幅広いジャンルで魅力的な講座を開催することができた。サークル活動体験講座は、募集枠3団体に対して、13団体からの応募があり、サークル活動の活性化に努めることができた。 会場のほかにオンラインでも受講できるハイブリッド型の講座を開催したほか、教養講座や1day講座は土日や夜間に多く開催するとともに、子育て講座では講座中の無料託児サービスを行うなど、働く人や子育て中の人等の参加機会を確保することができた。令和7年度より生涯学習講座のオンライン申込を開始し、応募者数延べ3,920人に対し、オンラインによる応募者数が2,089人オンライン応募が53.3%となり、利用者の利便性を図ることができた。	A
(2) センター運営事業	生涯学習センターの運営は、基本協定書及び事業計画書に基づき適切に実施されたか	A	<u>基準よりも優れた内容である。</u> ・貸館業務は、公平公正な料金徴収を行うとともに、利用者の側に立った対応により、円滑に進めることができた。施設の運営では、利用者会議やアンケート等いただいたご意見をもとに業務を遂行し、高い評価を得ることができた。また、センターフェスティバルでは、参加団体数も46団体あり、市民の交流とサークル振興という目的を高い水準で成し得ることができた。	B	<u>基準に概ね沿った内容である。</u> ・貸館業務や施設運営では、市民の意見を取り入れながら運営にあたることができ、利用者アンケートの総合的な満足度において98.8%と高い評価を得ることができた。その他にもサークル振興や市民の交流等のために生涯学習センターフェスティバルを開催し、参加団体数は令和6年度と比較して2団体増えた46団体となり、計画通り運営することができた。	B

(3) 自主事業	自主事業は、事業計画書に基づき適切に実施されたか	A	基準よりも優れた内容である。 ・市民が講師となる自主事業「学びの郷」は、令和6年度よりさらに多い12講座開催できた。子どもの育成支援として、図書館ボランティアとの連携で行ったおはなし会は、計画通り月2回開催することができた。また、令和7年度後期には、サークル活動の裾野拡大と活性化をめざして、サークル活動体験講座を実施したところ、募集枠3団体に対して、13団体からの応募があり、サークルから必要とされていることを実感できた。今後も継続していきたい。	A	基準よりも優れた内容である。 ・自主事業である「学びの郷」は、令和6年度より1講座増え、12講座開催され、市民協働で進める講座の充実を図ることができた。図書館ボランティアと連携して読み聞かせを月2回開催し、子どもの育成支援を推進することができた。 また、令和7年度よりサークル活動体験講座を開始した。	A
(4) 関係団体・市民との協働	市、登録団体、市民等と協働して事業に取り組んだか	A	基準よりも優れた内容である。 ・熟年者向けの「シニア大学」と「さわやかセミナー」では、市民ボランティアとの協働で、市民の要望に沿ったものや行政等の情報を取り入れたものなど、多岐にわたる分野の講座を開催することができた。また、さらに多様で高度な要望に応えるために、近隣の高等教育機関との連携により、講座の充実を図った。本年度も、市の施策を幅広く伝えるために、「市役所との共催講座」を前後期合わせて6講座開催した。センターフェスティバルでは、サークルの参加だけでなく一般利用の市民団体も参加するなど、幅広い市民との協働で開催することができた。その結果、アンケートでは満足度が97%という高い評価を得られた。その他、利用者会議やサークル等意見交換会、利用者アンケート等を通して寄せられたご意見を生かして、センターの管理運営を行った。	A	基準よりも優れた内容である。 ・講座全体を通して市、近隣大学、市民等と協働し市民ニーズに沿った質の高い多様な講座が開催されたほか、「市役所との共催講座」では6講座開催し、市の施策を推進することもできた。 生涯学習センターフェスティバルは、参加団体が2団体増えた46団体の生涯学習サークルに加え一般利用の市民団体も参加し、多くの利用者と協働して開催することができた。 施設利用者や講座受講者、サークル代表者などからなる利用者会議を年2回開催した。また、生涯学習サークル、社会教育関係団体との意見交換会も実施し、幅広い利用者からの意見を基に、施設の管理運営に活かすことができた。	A
5 個人情報の取扱い	個人情報の取扱いが適正に行われたか	A	基準よりも優れた内容である。 ・個人情報のデータは業務用パソコンのハードディスクのみで利用し、移動を禁じた。講師等の個人番号は、他に用いることのないよう金庫で厳正に保管している。さらに個人情報保護について内部会議で研修を行い、個人情報保護方針等の規定に沿った運営を行った。	B	基準に概ね沿った内容である。 ・個人情報の漏えいや不正利用はなく、適切に取り扱われた。	B

6 設置目的の達成 (管理目標)	管理する上で施設本来の目的 を達成できたか	A	基準よりも優れた内容である。 ・利用者が、安心・安全・快適に利用できるよう、日常及び定期の点検・清掃などを確実に実施したので、サークル活動や一般利用、講座など、幅広い利用者の活動を保障することができた。また、生涯学習講座やセンターフェスティバルを開催し、質の高い学習の場や活動の場を提供し、市民の交流を促進することができた。	B	基準に概ね沿った内容である。 ・講座の開催や貸館業務等、確実な点検や清掃による管理を行いながら市民の文化活動やサークル活動の場を提供することができた。また、生涯学習センターフェスティバルではサークル支援や生涯学習活動の発信ができ、本市における生涯学習振興の拠点施設としての機能を発揮することができた。	B
I の総括	《標準評価項目数12本》 当該施設評価項目数17本	A		A		A

II サービスの質の評価

1 利用者満足度	利用者アンケートを実施し、その結果は妥当であるか	A	基準よりも優れた内容である。 ・幅広い利用者からの272通におよぶアンケート結果では、「総合的な満足度」が、満足・やや満足を合わせて98.8%という、実に高い評価を得ることができた。ちなみにこれは、令和6年度より0.4ポイント、さらに高くなっている。	A	基準よりも優れた内容である。 ・施設利用者へのアンケート調査の結果、利用者満足度は非常に高い。	A
2 苦情への対応	苦情が多数寄せられなかったか 寄せられた苦情への対応は適切に行われたか	A	基準よりも優れた内容である。 ・寄せられた苦情に対して客観的に状況を判断し、問題の所在と今後の方向性を市と協議した上で、適切な方向性がとれるように考え、実行した。利用者会議やサークル等意見交換会などで上がったご意見についても同様に、適正な方向性をめざし、それらを内部会議で職員全員で共有し、よりよい運営管理に生かすように努めた。	B	基準に概ね沿った内容である。 ・もともと苦情はほとんど無いが、寄せられた場合は客観的に状況を判断し、問題の所在と今後の方向性を市と協議した上で、適切な対処ができた。アンケートで指摘・要望があったものについては、内部会議で情報共有するとともに利用者会議で意見交換を行い、改善に向けて検討・対応がなされた。	B

3 維持管理業務 (清掃、備品等の維持管理)	日常清掃業務や衛生管理は適切に行われたか 備品などの設備の維持管理は適切に行われたか	A	基準よりも優れた内容である。 ・清掃専門業者の職員による日常の清掃の他に、職員も適宜館内を巡回し、点検や清掃を行うことにより、清潔で安全な施設を維持することができた。部屋や備品の点検を利用前後に確実にを行い、不具合や破損等があったときには速やかに対応し、最適の状態を常に保つことを心がけた。その結果、利用者アンケートの「センター内の清潔感」では、満足・やや満足を合わせて100%という、この上ない高い評価を受けた。	B	基準に概ね沿った内容である。 ・専門業者と職員の手により施設内は常時清潔に保たれていた。利用前後に点検を確実にを行い、安心して利用できる環境が保たれており、利用者アンケートの「センター内の清潔感」では、満足・やや満足を合わせて100%という高い評価を得ることができた。 備品等については日常的に点検を行い、不具合や破損が見つかった際は、市に報告するとともに、可能なものは職員で修繕する等、迅速かつ適切な対応がなされた。	A
4 接客対応	利用者への接客態度は良好だったか	A	基準よりも優れた内容である。 ・職員の接遇の心構えについての研修を今年度2回行い、心を込めた、利用者寄り添った対応をすることを全員が心がけることができた。その結果、利用者アンケートの「窓口・電話での職員の対応」では、満足・やや満足を合わせて、98.4%という高い評価を得た。	A	基準よりも優れた内容である。 ・利用者へのアンケート調査の結果、利用者満足度は非常に高く、丁寧な対応ができています。	A
5 指定事業・自主事業 (事業内容の質)	実施された事業の質は良好だったか	A	基準よりも優れた内容である。 ・生涯学習講座も市民講師による自主事業である「学びの郷」講座も、多様な分野と時代に即した要望を反映したものを開講した結果、いずれの講座も事後アンケートで満足度の高い評価を得た。またサークル活動体験講座では、サークル側の裾野を広げたいという意図と、市民の、活動に参加してみたいという思いが合致し、互いに学びながら高め合うという、生涯学習の本来の姿に近づくことができた。	B	基準に概ね沿った内容である。 ・生涯学習講座は、特定の分野に偏ることなく様々な内容のものが企画されとともに、講師として大学教員等の高度な専門知識・技能を有する人を招くことで、多様化・高度化する市民ニーズに対応できるようなものとなっていた。受講者へのアンケート結果でも満足度は高く、質の高い事業が実施された。 自主事業である「学びの郷」では令和6年度より1講座増え、事業計画書にある10講座よりも多い12講座を開催し、事業全体として良質なものであった。	B
Ⅱ の総括	《標準評価項目数4本》 当該施設評価項目数5本	A		B		A

Ⅲ サービスの安定性の評価

1 事業収支	事業収支は黒字になっているか	B	基準に概ね沿った内容である。 ・例年上がっていく物価、特に光熱費の高騰については、大いに懸念していた。そのために、不必要な電気を切るとかエアコンの温度管理を常に心がけたので予算内で賄うことができた。また、修繕費が、令和6年度の1.9倍、令和5年度の3.1倍にのぼった。	B	基準に概ね沿った内容である。 ・事業収支は黒字になっている。 ・空調や換気のこまめな管理、ロビーなどの共用部分の照明を間引くなど経費削減を意識しながら運営にあたっており、光熱水費を予算内で賄うことができた。	B
2 有資格者	業務に必要な有資格者は確保されていたか	A	基準よりも優れた内容である。 ・仕様書に基づく有資格者の甲種防火管理者を2名配置し、適切に業務を実施した。職員の中には他に、第2種情報処理技術者、学芸員、保育士、幼・小・中の教員資格、食品衛生管理者、簿記1級、一級建築士などが在籍しており、管理運営業務に生かしている。	B	基準に概ね沿った内容である。 ・仕様書に基づく有資格者である防火管理者が確保されている。また、その他の資格所有者も昨年度より増え、学芸員や教職資格者など生涯学習講座等管理運営業務に活かされている。	B
3 経理業務	経理事務は適正に行われたか	A	基準よりも優れた内容である。 ・出納帳等の帳簿は、確実かつ明確に作成されている。また、部屋利用料や講座受講料等は、正確に、遅滞なく市に納付することができた。	B	基準に概ね沿った内容である。 ・出納帳簿が作成され、現金は金庫で厳重に保管されていた。部屋使用料等は、適正な金額が遅滞なく納付された。	B
4 団体の財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態か	A	基準よりも優れた内容である。 ・5年間の指定管理期間を適切に管理運営できるよう、計画的かつ適切に、業務経費の支出管理を行っている。また、負債は一切なく、正味財産額も一定額あり、継続して健全運営できる状態である。	A	基準よりも優れた内容である。 ・5年間の指定管理期間を適切に管理運営できるよう計画的な業務経費の支出管理が行われている。団体の正味財産も一定額あるため、業務の継続に支障はない。	A

Ⅲ の総括	《標準評価項目数3本》 当該施設評価項目数4本	A		B		B
Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを合わせた総合評価		A		B		A

成果・課題等

	指定管理者	施設所管課
成果	・法定点検を始め、日常点検や清掃業務等を確実に実施し、利用者が安全で安心して利用できる、清潔で快適な施設として保つことができた。 利用手続きについては、令和7年1月から導入されたシステムが確実に活用できるよう、申請書等の様式、操作マニュアル、利用者への案内書等の作成について、さらに研修を深めた。その結果、窓口申請・オンライン申請ともに、利用者に迷惑をかけたり苦情を受けたりすることは皆無であった。 生涯学習講座は、会場とオンラインの同時開催によるハイブリッド型講座や夜間の講座を、地域講座は岩倉東小学校の地域学校協働活動事業と協働で開催するなど、計画を上回る数の講座を開催し、市民の受講機会の拡大を図ることができた。子育て講座では、昨年度同数の11講座を開催し、子育て支援を拡充することができた。また、市の施策を幅広く伝えるための「市役所との共催講座」として、昨年度比、倍増の6講座を開催した。 講座の申込みが定員2,952人に対し4,287人となり、倍率は1.45倍と、多くの市民が受講したいと思える講座を企画することができた。すべての講座でアンケートを実施した結果では、ほとんどの受講者が満足であるとの回答があった。シニア大学やさわやかセミナー講座、センターフェスティバルでは、市民ボランティアと連携し企画運営することにより、市民との協働による生涯学習活動や交流の場を提供し、生涯学習の拠点施設として、成果を発揮できた。 また、市民が利用しやすい施設と活力ある生涯学習センターとするために、利用者会議を2回開催するとともに、生涯学習サークルと定例利用の社会教育関係団体との意見交換会を1回開催し、運営管理に活かすことができた。幅広い利用者から回答いただいた272通のアンケートでは、「総合的な満足度」が98.8%と、昨年度をさらに上回る高い評価を得ることができた。	・法定点検を始め日常点検や清掃業務等が確実に実施されており利用者が安心して利用できる施設運営がなされていた。 新公共施設予約システムの導入については、令和6年度に引き続き、職員向けの操作マニュアル作成や取扱研修を実施したこと、利用者に対してシステム更新の周知や利用登録・システム操作方法の説明を丁寧に行ったことで、トラブルもなく順調に運用することができている。 生涯学習講座は事業計画を2講座上回る110講座を開催することができた。応募者が定員に達した講座が110講座中93講座あり、全体では1.45倍の応募倍率となったことから、市民ニーズに沿った魅力的な講座が企画され、高い定員充足率を得られている。会場とオンラインとの同時開催によるハイブリッド型講座や土日・夜間の講座、アウトリーチ講座として岩倉東小学校の地域学校協働活動事業として地域講座が開催され、受講機会の拡大を実現することができた。また、「市役所との共催講座」として6講座開催され、市の施策を推進することができた。全ての講座で実施された終了後のアンケートでは、ほとんどの受講者から満足であるとの回答があり、全体を通して質の高い魅力的な講座が開催されている。 生涯学習センターフェスティバルは、生涯学習サークルや活動団体の支援につながっただけでなく、市民ボランティアと連携し企画運営することにより、市民協働による生涯学習活動や交流の場を提供することができた。その他、サークル支援として生涯学習サークルと社会教育関係団体の会員募集記事を市広報紙に掲載したほか、生涯学習サークル・社会教育関係団体意見交換会を実施し、団体から直接意見を聞くことができる貴重な機会となった。 令和7年度より、サークル活動の活性化と会員の増加を目指して、令和7年度より開始したサークル活動体験講座では、13団体からの応募があり、3講座24人の参加者で実施し、生涯学習センターの役割がサークル活動の要となっていることが顕著に表れた結果となった。 また、利用者アンケートの「生涯学習センターで活動しているサークルを市民に紹介してほしい」との要望を受けて、上記のサークル活動体験講座を実施し、利用者に寄り添った対応ができています。利用者アンケートの結果を見ても総合的な満足度が98.8%となっており、引き続き利用者の満足度は非常に高く、施設全体として良質なサービスを提供することができた。

課題	・サークル会員の高齢化と新規参加者が減少しているため、サークル支援を強化する必要がある。 部屋利用増加のため、利用目的が限定される料理室や和室の利用促進を図っていく必要がある。また、子供ルームの利用者数を増やす工夫をしたい。 供用開始後16年が経過し、設備の老朽化が進んでいる。特にエアコンの不具合・故障が、年間を通じて多発し、利用者に多大な迷惑をかけたことの改善策を図っていきたい。他についても、些細な不具合や修繕箇所でも、その早期発見と迅速な対応により、安全で安心できる施設とする必要がある。	・生涯学習サークル、社会教育関係団体の数は高齢化の影響などにより65団体から62団体に減少しており(解散団体は夢クラブ、楽しい寄せ植え、木彫の会)、意見交換会でも人数の減少により団体の存続に危機感を持っている団体がある。 料理室や和室など利用が限定している部屋の利用率向上、子供ルームの利用者数向上を図る必要がある。 令和7年度は経年劣化によるエアコンの故障が複数回あったため(5月冷媒補充修繕、6月排ガス熱交換器修繕、7月室外機ガス漏れ修繕、11月ロビーコンプレッサ修繕、11月 研修室空調発電機基盤取替修繕&スタジオ空調プレート熱交換器取替修繕)、今後もエアコンの修繕が出てくることが予想される。 また、施設の老朽化が進んでいるため、定期点検や巡回時の点検により早期に修繕が必要な箇所を把握し、対応していく必要がある。
課題解決のための方策 (協議結果等)	・サークル会員拡大のため、市広報紙を始め様々な媒体を使った会員募集を行うとともに、生涯学習センターフェスティバルやギャラリーを活用し団体の宣伝や発表の場を提供する。引き続き意見交換会を開催しサークルの状況を把握する。 料理室や和室の利用率が低くなっているが、生涯学習講座での料理室の活用や、岩倉市図書館ボランティアによる絵本の読み聞かせ「おはなし会」で継続して和室を活用するなどしており、今後も部屋ごとの特性に応じた活用を図っていく。また、令和8年度より月1回子育て相談活動を和室にて開催し、合わせて子供ルームへの利用増も図っていく。子供ルームの玩具や絵本等の入替を適宜行い、利用する親子にとって魅力ある空間となるよう努める。 エアコンの不具合・故障については、設備が老朽化しており、修繕では対応できないため、設備更新等について検討する。また、日常の施設の点検等を確実に行うとともに、不具合等の早期発見と早期修繕を実施する。	

指定管理者評価等委員会 評価	B	協定書及び仕様書に基づき、職員配置、受付業務、使用料収納、保守点検、清掃、修繕等は適正に実施され、安定した施設管理が行われている。公共施設予約システムやキャッシュレス決済の導入後も大きなトラブルなく円滑に運営されている点は評価できる。 生涯学習講座は、事業計画を上回る110講座を開催し、申込倍率も1.45倍と高く、利用者満足度も98.8%と非常に高い。今後は、サークル支援、料理室・和室等の利用促進、子供ルームの利用促進、空調設備等への対応について、市と連携しながら取り組まれない。
----------------	---	--

《評価区分》

①評価項目(細目)の評価基準	A(優 良)＝ 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である。(的確に実施されているとともに、様々な工夫がされている。) B(良 好)＝ 協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である。(的確に実施されている。) C(課題含)＝ 協定書等の基準を遵守しているが、内容の一部に課題がある。 D(要改善)＝ 協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である。 －(非該当)＝ 該当しない又は評価することができない。
②評価項目別総括	A(優 良)＝ 評価項目(細目)が全てB以上であり、かつAが過半数である。 B(良 好)＝ 評価項目(細目)が全てC以上であり、かつB以上が8割以上である。 C(課題含)＝ 評価項目(細目)が全てC以上である。 D(要改善)＝ 評価項目(細目)にDが含まれている。
③総合評価	A(優 良)＝ 目標や計画を上回る成果があり、特に優れていた。(評価項目(細目)が全てB以上であり、かつAが過半数である。) B(良 好)＝ 目標や計画どおりの成果があり、適正な管理が行われた。(評価項目(細目)が全てC以上であり、かつB以上が8割以上である。) C(課題含)＝ 目標や計画を下回る点があり、管理運営に対する努力が必要である。(評価項目(細目)が全てC以上である。) D(要改善)＝ 管理運営が不適切な点があり、業務改善勧告等の措置を講じるべきである。(評価項目(細目)にDが含まれている。)